

令和7年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立六郷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・作業内容をスモールステップに分けることで、集中して取り組む生徒が多くなった。

(2) 課題

- ・様々な制作をできるようにするために道具や素材を扱いやすい環境づくり。
- ・発想を助けるために様々なサンプルが目に入るような環境づくり。
- ・作業内容と評価が分かりやすいような課題づくり。

2 過去の成果との比較・分析

- ・学習効果測定未実施教科

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
課題の内容を十分に理解して制作させる。ラフスケッチを多く行い、多様な表現方法を用いるように促す。	美意識を高め、物の見方について理解させる。作品についての判断力を高め、表現に生かすようにさせる。	創作意欲を高め、集中力を継続しながら制作する能力を育てる。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
造形に対する、基本的な姿勢を重視させる。特に創造的な技能にも重点を置く。	日常的に見る造形物などから美を見つけ出し、表現に生かす力を育てる。	創作活動の楽しさや美に対する関心を深め、自主的に創作できる能力を育てる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自由な発想から表現技能を見つけ出し、創作に結び付けさせる。	自然の造形物の中に美しさを見出し、表現に生かす力を育てる。また、社会の中の美術文化の働きについて考える機会をもたせる。	鑑賞能力を高め、表現に生かすようにさせる。鑑賞の成果を制作に取り入れ、より独自性が発揮できるようにさせる。